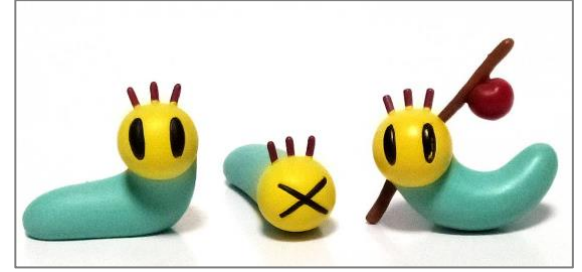




5月のナレッジだより

先月のテーマ コマ撮りアニメーションに挑戦！

NHKのプチプチアニメ「ニャッキ」で有名な「コマ撮りアニメーション」に挑戦しました。最近では、学校の図工でも取り上げられるコマ撮りアニメですがここは、プログラミング教室っぽく、スクラッチでアニメーションのプログラムを考えました。



ブロックで作品作り

最初は、1つずつブロックを積み上げていくアニメーションから。マインクラフトが人気ですね。



今回の授業、何度、この言葉を叫んだことか（笑）というのも、撮影タイムになると、いきなり、パシャパシャと撮りだす生徒続出。



ちょっと
待った～

先生：「iPadは手でもたず、テーブルに固定、アニメーションは写真がズレたらダメだよ！」

生徒：「は～いつ パシャパシャ！」

先生：「ちょっと待った～、画角に入ってる？ちゃんと、真ん中にいる？水平だよ」

生徒：「ロボット（作品）が、写真に入らないよ」

先生：「iPadの角度、距離を変えてみて！」

この授業を通して、時間をかけてゆっくり取り組むことに慣れていない子どもが多いと感じました。

「ゆっくりね」というと、「めんどくさい～」「ええ～」という返事が返ってくるのです。

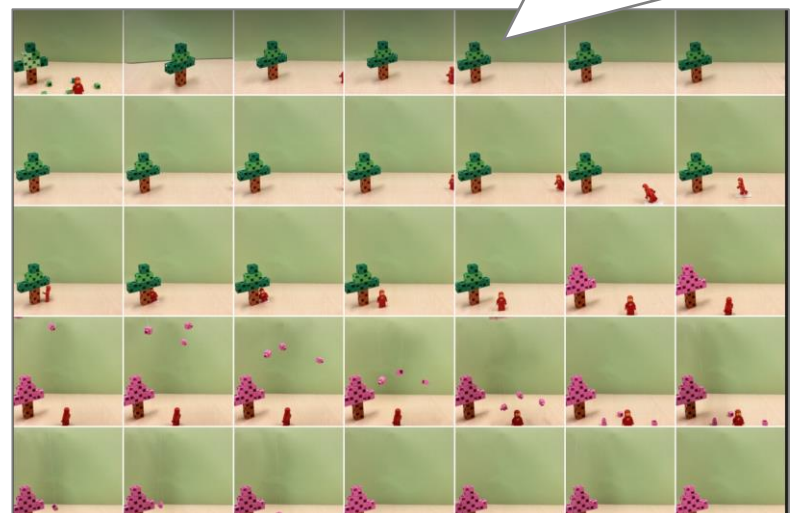
しかし50枚の写真を撮り終えて、できたアニメーションをみると

「ええ～すごい」といきなり目がキラキラで大興奮。

ChatGPTしかり、最近は何んでも「効率化」で、時間の節約と言われますが、時間をかけてステキな作品が仕上がった時の満足感は、なかなかのものですよ！

これはほんの一部

こんな感じで、写真を取り続けるんです！



「言った通りになったでしょ」

ブロックで作品作りをしていると、多くの生徒が「そのブロックは、何のために作ってるのか」を忘れ、好きなキャラクターを、カッコよく作ろうと、大きく、複雑に作りこんでしまいがちです。完成したら、バラバラにして、ブロックを1つずつ積み上げて撮影していくのですが

「ええ～壊したくない」

「ばらしたら元に戻せない」という有様。

途中で何度か注意しますが、夢中になっている時は、なかなか聞いてくれませんね。

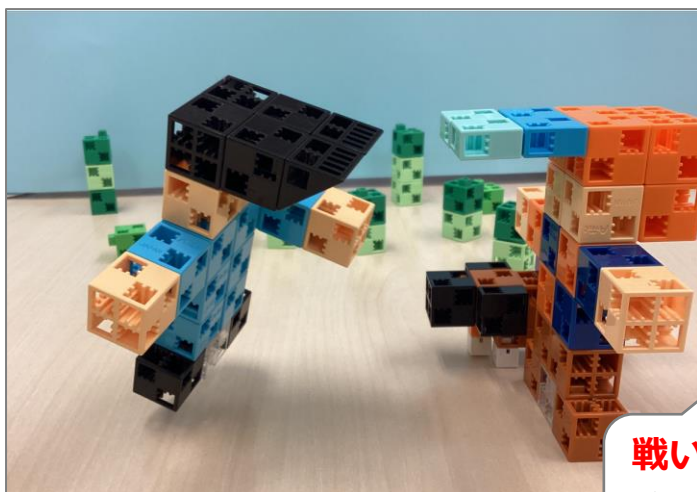
そんな時は、無理に修正させるのではなく、納得するまで作ってもらいます。

うまくいかなかったら、やり直せばよいのです。

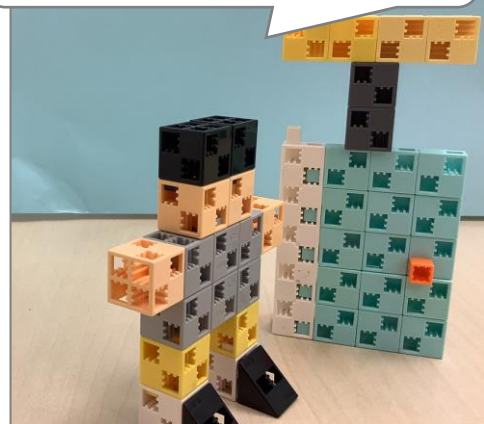
「言った通りになったでしょ」、これは絶対に言ってはいけませんね！

目標までの道すじを考える「プログラミング的思考」は、何度も何度も体験しなくては身に付きませんから！

コマ撮りギャラリー

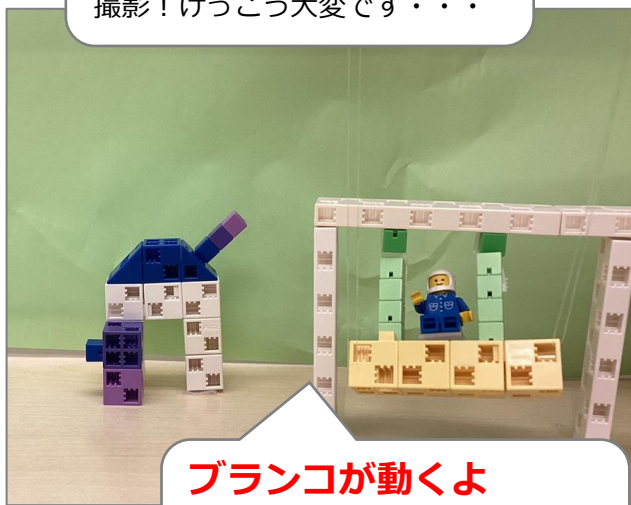


ドアを開けたら・・・
森にワープ。アイデアがステキ！



戦いシーン

透明な糸をつけて、斜めにして撮影！けっこう大変です・・・



ブランコが動くよ

こっそり、テープをあちこちつけて、撮影しています。



中学生の作品は、さすがですね。写真は200枚超え！



【重要】授業参観のお知らせ

6/7（水）、6/8（木）、6/9（金）、6/10（土）に授業参観を実施します。

授業終了の30分前～参観スタートです。作品発表を行います。日頃の学習の成果をご覧ください！

今月のテーマ

✓暗号のアルゴリズムに挑戦！シーザー暗号で脱出ゲームを作ろう

小学生に暗号はまだ早い？いえいえ、今のデジタル社会は暗号技術の上に成り立っています。

古代ローマのシーザー（カエサル）が、軍事機密を伝える際に使ったといわれるシンプルな暗号をプログラミングで解いてみよう！